

世界初！？「ビワコオオナマズベンチ」が完成！ 株式会社木下カンセー様の寄贈品贈呈式でお披露目します

琵琶湖博物館 30 周年記念企画展示「博物館はタイムマシンー魚類学者がみた琵琶湖ー」は、当館企画展示の過去最多入場者数に迫る盛況となっています。このたび、新たに「ビワコオオナマズベンチ」が完成しました。「ビワコオオナマズベンチ」と、すでに展示している「アユモドキベンチ」は、株式会社木下カンセー様より寄贈いただいたものです。

令和8年(2026年)10月15日(木)14時からの寄贈品贈呈式でビワコオオナマズベンチをお披露目し、企画展示室に設置します。

概要

- ・令和8年(2026年)10月15日(木)14時から、株式会社木下カンセー様の寄贈品贈呈式を開催し、完成したビワコオオナマズベンチをお披露目します。
- ・世界初！？となる「ビワコオオナマズベンチ」は、またがって記念撮影をしていただくことができます。
- ・企画展示室にて、シーボルトコレクションが保管されているオランダのナチュラリス生物多様性センターの裏側(収蔵庫)を撮影した映像を特別公開します。

詳細

● ビワコオオナマズベンチ

ビワコオオナマズ *Silurus biwaensis* (Tomoda, 1961) は、友田淑郎博士によって新種記載されました。体長最大 130cm ほどになる魚食性の魚で、琵琶湖の生態系の頂点に位置します。琵琶湖固有種で琵琶湖を象徴する存在でもあるため、当館でも琵琶湖のヌシ水槽などで展示しています。琵琶湖の魚の中では知名度が高く、県民にも親しまれています。滋賀県公式キャラクター「キャッフィー」のモデルにもなっています。

琵琶湖を象徴するビワコオオナマズを通じて、より多くの方に琵琶湖の環境について考えていただくきっかけとなるよう、このたび「ビワコオオナマズベンチ」を製作しました。10月15日(木)の寄贈品贈呈式後、企画展示室の令和コーナーに設置予定です。



完成したビワコオオナマズベンチ

<寄贈品贈呈式>

日時：令和8年10月15日（木）14：00

場所：琵琶湖博物館アトリウム

出席者：株式会社木下カンセー 木下昌秀代表取締役、内田玲子営業部主任
琵琶湖博物館 亀田佳代子館長 他

● ナチュラリス生物多様性センターの裏側動画公開

オランダのナチュラリス生物多様性センターには、シーボルトが江戸時代の日本で収集した膨大な数の自然史コレクションが眠っています。今回、今年1月に訪問した際に撮影したナチュラリス生物多様性センターの裏側（収蔵庫）の映像を特別公開します。企画展示室の江戸時代コーナーにて、会期中視聴できます。



ナチュラリス生物多様性センターの収蔵庫
で標本の説明を受ける亀田館長たち

企画展示詳細

期間：令和8年（2026年）7月18日（土）～11月23日（月・祝）

時間：9：30～17：00（最終入館 16：00）

場所：琵琶湖博物館企画展示室

料金：大人 340 円（団体料金：270 円）、大学生 240 円（同：210 円）、小・中学生・高校生 170 円（同：130 円）

※ 企画展示の観覧には別途常設展示観覧料が必要になります。

※ 団体料金は 20 名以上からとなります。